

# 令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

## 1 事業の成果

令和3年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター(以下センターという)の管理・運営の第4期3年目である。指定期間は令和3年度～令和7年度の5年間である。

新型コロナウイルスの感染(以下、コロナ禍)が感染症5類に移行し、就業支援講習会や生活支援講習会、その他の事業は感染予防対策を行いながら予定通り実施できた。

日常生活支援事業は、利用登録者は64人で昨年度より6人増加したが、利用件数は165件で昨年度の300件から大幅に減少した。支援員登録者数は44名で、子育て支援研修修了者など5名の新規登録があった。

福岡市自立支援プログラム策定事業は、プログラム策定者が貸付対象となるひとり親家庭住宅支援資金貸付事業が令和5年2月から開始された影響もあり、策定者数が昨年度の55名から今年度は84名と増加した。本事業は、生活保護受給者等就労自立支援事業の活用やハローワークと連携した伴走型の就業支援で、今年度の就職率は昨年度の47.3%から54.8%と7.5%上昇した。

NPO事務所は週2回5時間ずつ開所し、そのうち3時間は電話相談を受けた。

当団体は、年間を通じて食糧支援を行った。「初夏の食糧支援2023」と銘打って、お米・(株)ピエトロからの提供品、おてらおやつクラブのおすそ分けなどを宅急便で届けた。4月に発足したこども家庭庁のひとり親等食事支援事業として、お米10Kを9月と1月にそれぞれ400世帯に届けた。福岡市生活困窮者支援活動事業では、12月に年末応援食糧支援として、年末必需品を宅配し喜ばれた。季節ごとに希望者に届けることができた。また、福岡市社会福祉協議会からの事業受託(お年玉企画として図書カード贈呈)、西日本新聞民生事業団からの提供チケットや映画鑑賞券の配布などひとり親を対象とした事業を手掛けることができた。「高校生お祝い金事業」も引き続き実施した。広報が十分ではなく、募集予定人数に達しなかったが、受け取ったひとり親家庭の父母、お子さんからは「大事に使いたい」との声が寄せられた。(株)ウエストのうどん玉募金、個人からの寄付金を活用した。

子育て支援事業のメインイベントである親子リフレッシュ事業は、バスで筑前町やすらぎの森に出かけた。広い公園を駆け巡り、バーベキュー料理に舌鼓をうった。食事後は森でとれた松ぼっくりや木の実を利用して、親子でクリスマスリースを作成し、出来上がりに満足して持ち帰られた。参加者どうしやリース作りのボランティアの方々との交流が図られた。国際ソロプチミスト福岡中央からの寄付金を費用に当てた。(株)ピエトロの招待により、能古島自社農園において野菜の収穫体験とバーベキューランチが実現した。貴重な体験とプロの料理に子どもたちのテンションも高く、夏休みの思い出づくりができた。

企画委員会では、子育て中や子育て終了後のシングルマザー3名から子育て支援事業への要望や提案を聞いた。今年のクリスマス行事は、大道芸を見たいというリクエストにより大道芸人KAJIさんのパフォーマンスを楽しんだ。ギネス世界記録に認定された技にハラハラドキドキ。バルーンでの刀づくりや、質問の時間では大道芸人を目指すようになったきっかけについて聞いて、子どもたちの満足につながった。焼き菓子詰め合わせをお土産に渡し喜ばれた。福岡市母子福祉会芙蓉基金の助成金を費用にあてた。花見はコロナ禍で中断していたが、4年ぶりに開催し開花時期もぴったりで親子で花見を楽しみ、参加者どうしの交流も図られた。

2月にサポーター養成講座を開催した。ひとり親家庭の現状と支援、法律、DV被害者への支援、“じじっか”の取り組み、当事者の体験談。最後に相談事例検討と参加者交流を行った。講師陣も参加者の顔ぶれも多彩で今後も継続する必要性を感じた。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザーサポート団体全国協議会では、コロナ禍の影響や物価高騰が続くため、仕事を失ったり、収入が減少したひとり親への支援を各地で継続している。NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむが「だいじょうぶだよ！基金」などに企業と個人からの寄付金を集め、参加団体は申請することで活動資金を得られた。

7月に金沢市で全国連絡会4周年記念集會を開催した。こども家庭庁の担当者からこども家庭庁の役割を聞き、研究者からこども基本法について学ぶなど貴重な機会となった。毎月1回、Zoomで定例会議を行い、情報交換や行動計画に向けた打合せを行った。

令和3年3月に始まった家族法に関する法制審議会において、昨年中間試案に対するパブリックコメントが集約され、それをもとに毎月会議を重ね要綱案がまとめられた。共同親権が選択できるようになるが、当事者が協議で決定できない場合は家庭裁判所が判断するとされている。DVや虐待があっても共同親権になる可能性が否定できず懸念を残して国会に提出された。

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	令和5年4月～令和6年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	6人	福岡市内のひとり親、寡婦 294人	0
相談事業	離婚、生活相談(電話、メール)	令和5年4月～令和6年3月	当会事務所	2人	主としてひとり親 77人	0
セミナー事業	拡大おしゃべり会	令和5年9月22日	福岡市健康づくりサポートセンター・視聴覚室	3人	4人	11
	ひとり親家庭のつどい ワークショップスタッフ	令和5年11月19日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	1人	福岡市内ひとり親と子ども 34人	2
	ひとり親家庭サポーター養成講座	令和6年2月4日	福岡市ボランティアセンターあすみん	2人	16人	80
出版事業	母子家庭に関する会報の発行	年3回 (7月、11月、3月)	当会事務所	2人	購読者 137人	387
子育て支援事業	親子で収穫体験とハーベキュー	令和5年7月30日	福岡市西区 能古島	2人	ひとり親と子ども 18人	29
	親子リフレッシュ事業 夜須高原記念の森で遊ぼう (会員限定)	令和5年11月12日	筑前町 やすらぎ荘	2人	ひとり親と子ども 41人	160
	大道芸KAJIさんパフォーマンス (芙蓉基金)	令和5年12月17日	赤坂小学校	5人	ひとり親と子ども 70人	218
	高校入学お祝い金事業	令和6年3月	当会事務所	2人	ひとり親と子ども 30人	1,505
	お花見(天神中央公園) (会員限定)	令和6年3月31日	福岡市中央区	3人	ひとり親と子ども 35人	53
調査・研究事業	実施せず					
福祉事業	初夏の食糧支援(カブコン・ピエトロ・おてらおやつ等) ジブリチケット、映画鑑賞券等	令和5年4月～令和6年3月	当会事務所		福岡県内のひとり親家庭 310人	1,135
他団体の事業受託	福岡市社会福祉協議会 (お年玉企画、図書カード贈呈)	令和5年12月～令和6年1月	当会事務所	3人	福岡市内のひとり親 500人	1,801
	年末応援食糧支援 福岡市生活困窮者支援活動事業	令和5年12月	当会事務所	3人	福岡県内のひとり親 130人	545
	ハッピーお米プロジェクト (こども家庭庁 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業)	令和5年9月、令和6年1月	当会事務所	4人	福岡県内のひとり親 800人	3,732
	福岡市立ひとり親家庭支援センターの管理・運営	令和5年4月～令和6年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	11人	福岡市内のひとり親、寡婦 9209人	52,264
	福岡市ひとり親家庭等日常生活支援事業	令和5年4月～令和6年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	20人	福岡市内のひとり親、寡婦 165人	1,247
その他法人の目的達成のための事業	シングルマザーサポート団体 全国協議会活動	令和5年4月～令和6年3月	各団体事務所にて Zoom会議	1人	参加団体 31団	
		令和5年7月	4周年記念集会(金沢市)	1人	参加者 65人	42